

「2020TDM推進プロジェクト」 について

内閣官房
東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

過去大会の事例 (2012年ロンドン大会・TDM広報 一般利用者向け)

There will be travel hotspots across London during the Games
 27 July – 12 Aug and 29 Aug – 9 Sept

Find out which journeys will be busier and how to get around more easily at GetAheadoftheGames.com and follow us on Twitter @GAOTG

Working together
 MAYOR OF LONDON National Rail Department for Transport HIGHWAYS AGENCY Transport for London

Avoid the crowds. Set off at a different time
 27 July – 12 Aug and 29 Aug – 9 Sept

Find out which journeys will be busier and how to get around more easily at GetAheadoftheGames.com and follow us on Twitter @GAOTG

Working together
 MAYOR OF LONDON National Rail Department for Transport HIGHWAYS AGENCY Transport for London

Get ready to change the way you travel

Don't leave it to chance during the Games. Plan your journeys at GetAheadoftheGames.com

Follow us on Twitter @GAOTG

Working together
 MAYOR OF LONDON National Rail Department for Transport HIGHWAYS AGENCY Transport for London

過去大会の事例 (2012年ロンドン大会・TDM広報 企業向け)



The world might stop for the Games
Your business shouldn't

For six weeks in the summer of 2012, the Olympic and Paralympic Games will have a significant impact on parts of London's transport network, which will in turn affect businesses, staff, customers and suppliers across the capital.

To help you plan ahead, we've put together a free online business toolkit. Use it to find out how you'll be affected, and keep your business running smoothly during the Games.

To get your free toolkit, search online for "Travel advice for business."

London2012.com
The organizers of the Olympic and Paralympic Games for London 2012 operate a limited liability partnership through the Olympic Games Organisations, The Organizers for London, Stable and Daily Arrangements and London 2012 Organizational Agency. © 2011 London 2012 Organisations. All rights reserved. The London 2012 Games are a Premier League Property of the Olympic Games and Paralympic Games 2012 Organisations. All rights reserved.




Just 40 weeks to go.
Is your business ready for the Games?

Travel will be severely affected during the Games, and it's time to make sure your business is prepared. There are lots of ways you can do this, such as allowing some staff to work from home, being flexible with start and finish times, adjusting non-peak periods and communicating operational changes to staff, customers and clients.

If you haven't started planning already, visit our site today, where you can sign up for email updates and find all the support and information you need to make your plan, before time runs out.

Sign up for email updates now at london2012.com/traveladviceforbusiness

MARK OF LONDON 




The countdown to the Games is on.
Make your business travel plan now.

It's time for your business to make a travel and transport action plan for the London 2012 Games. This is essential because London's transport network will operate very differently.

There are a number of things you can do to prepare for this, like allowing some staff to work from home, being flexible with start and finish times, adjusting non-peak periods and re-thing deliveries.

Visit the website now for more advice and information on workshops and other support and make your plan before time runs out. **Sign up for email updates now at london2012.com/traveladviceforbusiness**

MARK OF LONDON 

【オリンピック】

2020年7月24日（金）～8月9日（日）

33競技 選手約11,000人 観客約780万人

メディア関係者約25,000人

【パラリンピック】

2020年8月25日（火）～9月6日（日）

22競技 選手約4,400人 観客約230万人

メディア関係者約9,500人

重点的な取組が必要な期間

2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 開会式 スポーツの日	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9 閉会式	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 閉会式	7	8	9	10	11	12

※2020年から体育の日はスポーツの日に名称変更

東京2020大会競技会場

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 会場計画



会場計画コンセプト
Infinite Excitement - 無限の可能性 -
 東京2020大会の会場計画は、1964年の東京大会のレガシーを引き継ぐ「ヘリテッジゾーン」、都市の未来を象徴する「東京ベイゾーン」の2つのゾーンから構成されています。選手村を中心に広がる2つのゾーンは、無限大の記号をイメージさせます。東京2020大会を通じて、トップアスリートが灯した情熱と、次世代へつなげる可能性、そして語りつがれるレガシーが無限に広がっていくことを表しています。

■ オリンピック競技 ▲ パラリンピック競技

- 1 新国立競技場(オリンピックスタジアム)
 ■ 開会式・閉会式/陸上競技/サッカー
 ▲ 開会式・閉会式/パラ陸上競技
- 2 東京体育館
 ■ 卓球 ▲ 卓球
- 3 国立代々木競技場
 ■ バンドボール ▲ バドミントン/ウィルチェアラグビー
- 4 日本武道館
 ■ 柔道/空手 ▲ 柔道
- 5 皇居外苑
 ■ 自転車競技(ロードレース[スタート/ゴール])
- 6 東京国際フォーラム
 ■ ウエイトリフティング ▲ パラパワーリフティング
- 7 国技館
 ■ ボクシング
- 8 有明アリーナ
 ■ バレーボール(インドア) ▲ 車椅子バスケットボール(決勝)
- 9 有明体操競技場
 ■ 体操 ▲ ボッチャ
- 10 有明BMXコース
 ■ 自転車競技(BMX)
- 11 有明テニスの森
 ■ テニス ▲ 車いすテニス

- 12 お台場海浜公園
 ■ 水泳(マラソン10km)/トライアスロン ▲ トライアスロン
- 13 潮風公園
 ■ バレーボール(ビーチバレーボール)
- 14 青海アーバンスポーツ会場
 ■ スケートボード/スポーツクライミング ▲ 5人制サッカー
- 15 大井ホッケー競技場
 ■ ホッケー
- 16 海の森クロスカントリーコース
 ■ 馬術(総合馬術[クロスカントリー])
- 17 海の森水上競技場
 ■ カヌー(スプリント)/ボート ▲ カヌー/ボート
- 18 カヌー・スラローム会場
 ■ カヌー(スラローム)
- 19 アーチェリー会場(夢の島公園)
 ■ アーチェリー ▲ アーチェリー
- 20 オリンピックアクアティクスセンター
 ■ 水泳(競泳、飛込、シンクロ/水球) ▲ パラ水泳
- 21 東京辰巳国際水泳場
 ■ 水泳(水球)
- 22 馬事公苑
 ■ 馬術(乗馬馬術、総合馬術[クロスカントリーを除く]、障害馬術)
 ▲ 馬術

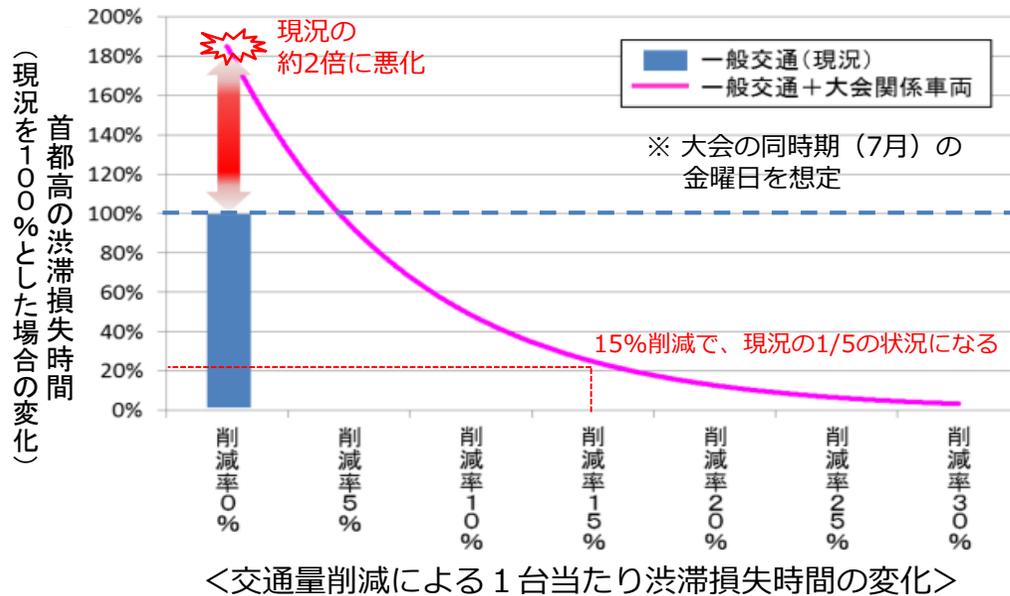
- 23 武蔵野の森総合スポーツプラザ
 ■ バドミントン/近代五種(フェンシング)
 ▲ 車椅子バスケットボール
- 24 東京スタジアム
 ■ サッカー/近代五種(水泳、馬術、ランニング、射撃)/ラグビー
- 25 さいたまスーパーアリーナ
 ■ バスケットボール
- 26 陸上自衛隊朝霞訓練場
 ■ 射撃 ▲ パラ射撃
- 27 霞ヶ関カントリー倶楽部
 ■ ゴルフ
- 28 幕張メッセ Aホール
 ■ テコンドー/レスリング
 ▲ シットイングバレーボール
- 29 幕張メッセ Bホール
 ■ フェンシング
 ▲ テコンドー/車いすフェンシング
- 30 幕張メッセ Cホール
 ■ ゴールボール
- 31 釣ヶ崎海岸サーフィン会場
 ■ サーフィン
- 32 横浜スタジアム
 ■ 野球/ソフトボール

- 33 江の島ヨットハーバー
 ■ セーリング
 - 34 伊豆ペドロローム
 ■ 自転車競技(トラック/レース) ▲ 自転車競技(トラック/レース)
 - 35 伊豆マウンテンバイクコース
 ■ 自転車競技(マウンテンバイク)
 - 36 福島あづま球場
 ■ 野球/ソフトボール
 - 37 札幌ドーム
 ■ サッカー
 - 38 宮城スタジアム
 ■ サッカー
 - 39 埼玉スタジアム2002
 ■ サッカー
 - 40 横浜国際総合競技場
 ■ サッカー
- 選手村
- IBC/MPC (東京ビッグサイト)
- 調整中
 ▲ 自転車競技(ロードレース)
- ※オリンピック競技のサッカーについては、会場を調整する検討をしています。
 (本冊子記載の情報は2017年4月現在のものです)

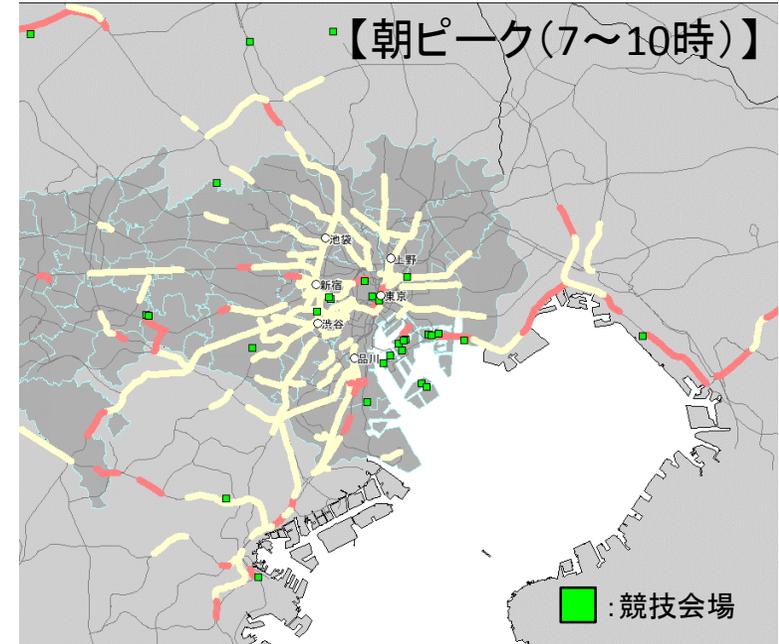
大会時の交通の見通し

1. 大会時の交通の見通し

【高速道路】



【鉄道】 観客利用と道路からの転換により、利用者が約1割増加。



2. 検討の方向性

交通マネジメントは以下の3つで構成

- ① 交通需要抑制・分散・平準化を行う「**交通需要マネジメント (TDM)**」
- ② 道路状況に応じて交通の需給関係を高度に運用管理する「**交通システムマネジメント (TSM)**」
- ③ 鉄道等の安全で円滑な輸送を実現する「**公共交通輸送マネジメント**」

公共交通輸送マネジメント（鉄道）

公共交通輸送マネジメント（鉄道）の基幹となる3つの施策

①輸送力の確保

- 会場近傍など、特に混雑の激しい路線における輸送力増強策
- 会場や各駅の特徴などを踏まえた駅における対応

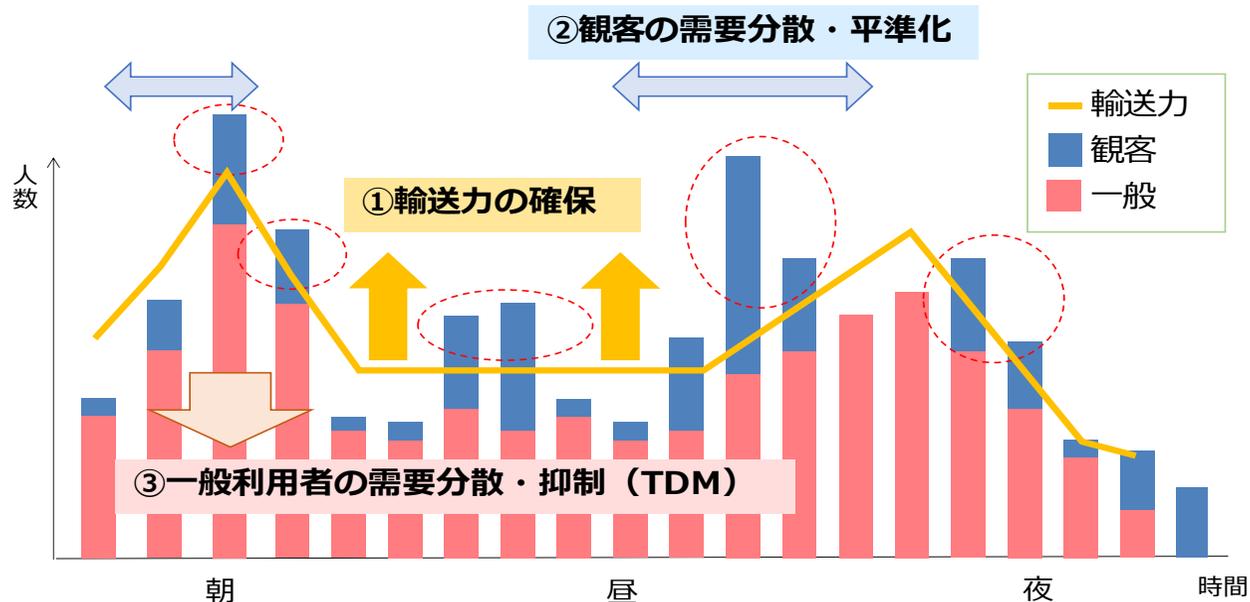
②観客の需要分散・平準化

- 会場毎の制約条件を踏まえた入退場時間の分散検討

③一般利用者の需要分散・抑制（TDM）

- 幅広く利用者に対し「混雑が予想されるエリア・時間帯」など、早期に分かりやすく情報提供し、混雑回避など上手な鉄道利用のお願い
- 混雑箇所と関係が深い地域や利用者に向け情報提供と協力しやすい環境整備を重点的に実施

→ 3つの施策の組合せにより安全で円滑な観客輸送の実現を目指す



1 TDMの必要性と目標

- ・ 大会関係車両や観客の交通需要の影響により、道路、鉄道共に混雑が深刻化

(目標)

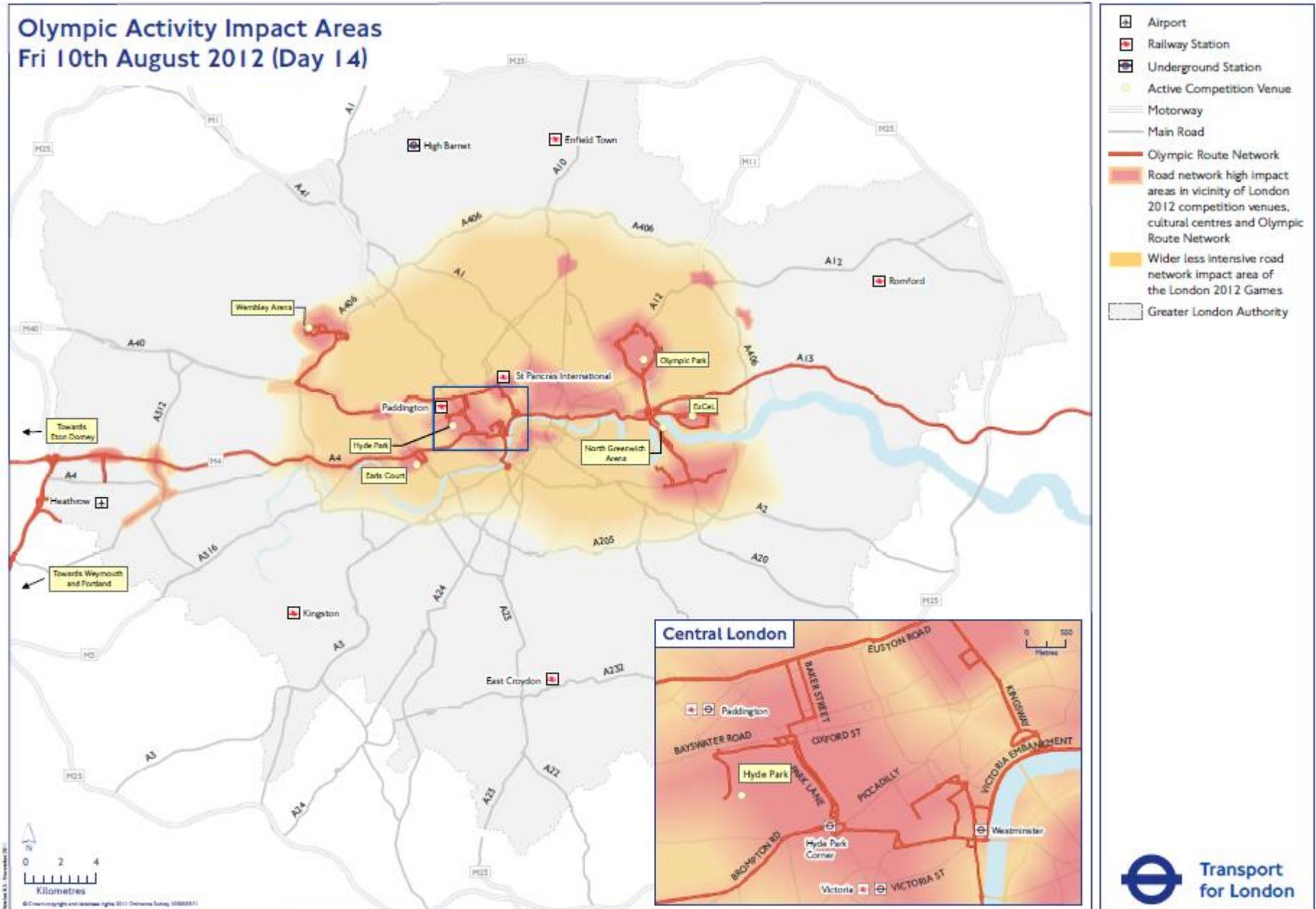
- ・ 道路交通は休日並みの交通環境を目指す
- ・ 鉄道は現在と同程度のサービスレベルを目指す

道路交通では、平日の15%程度交通量減（休日並み）の良好な交通環境の実現を目指す。このため、継続的に一般交通を抑制し交通量全体を大会前の10%程度減とするとともに、部分的に更なる分散・抑制を図る。公共交通（鉄道）は、局所的な混雑への対応などにより、現状と同程度の安全で円滑な運行状況を目指す。

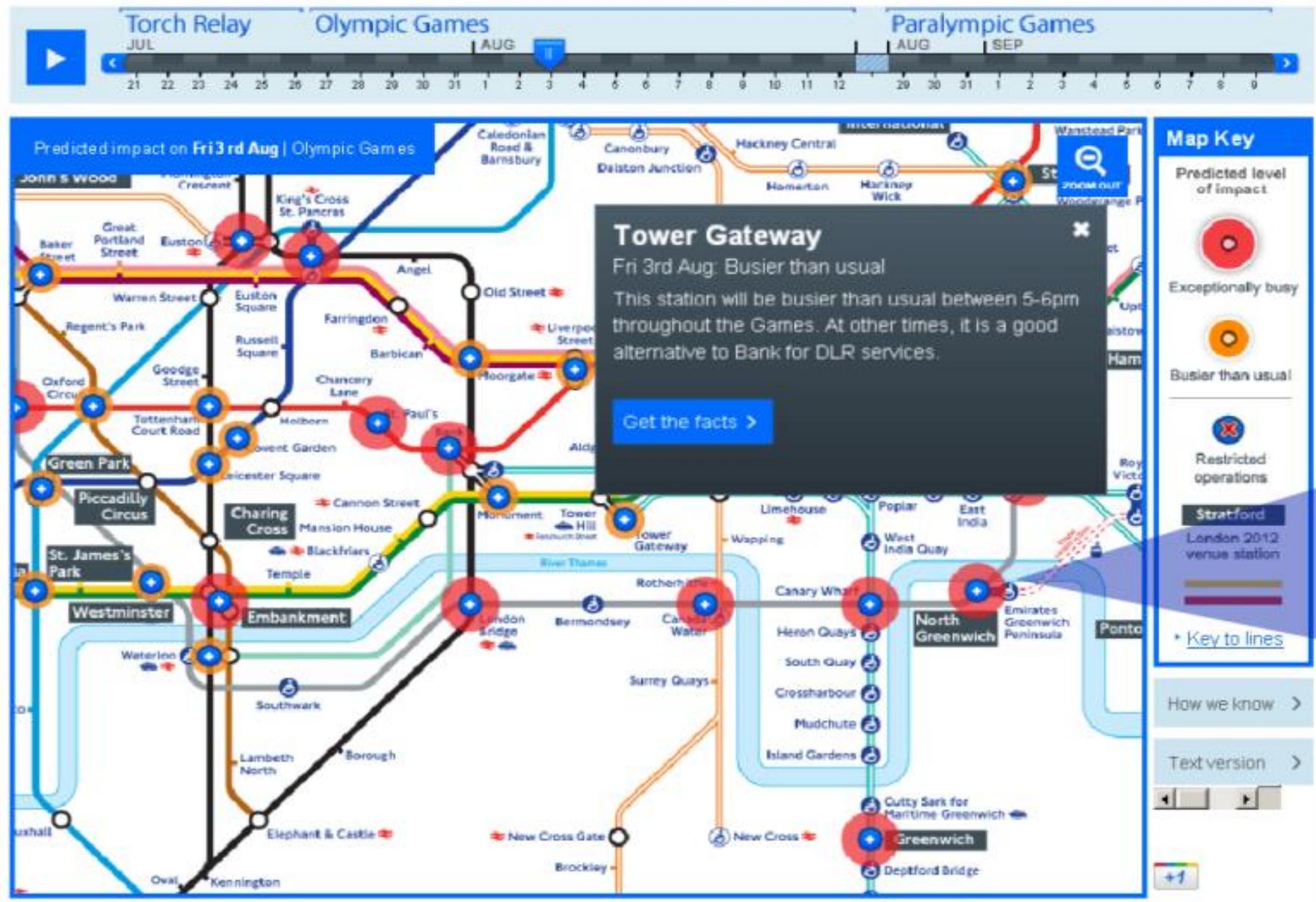


広く、企業や個人の皆さまから、
少しずつご協力いただき、交通量を減らすことが重要

過去大会での情報提供の例 (ロンドン大会 道路)



過去大会での情報提供の例（ロンドン大会 駅）



過去大会での情報提供の例（ロンドン大会 駅間）



**何も対策を行わないと、人やモノの移動が制約を受け、
都市活動が滞るリスクがある**

＜大会時に起こり得ること(リスク)の例＞

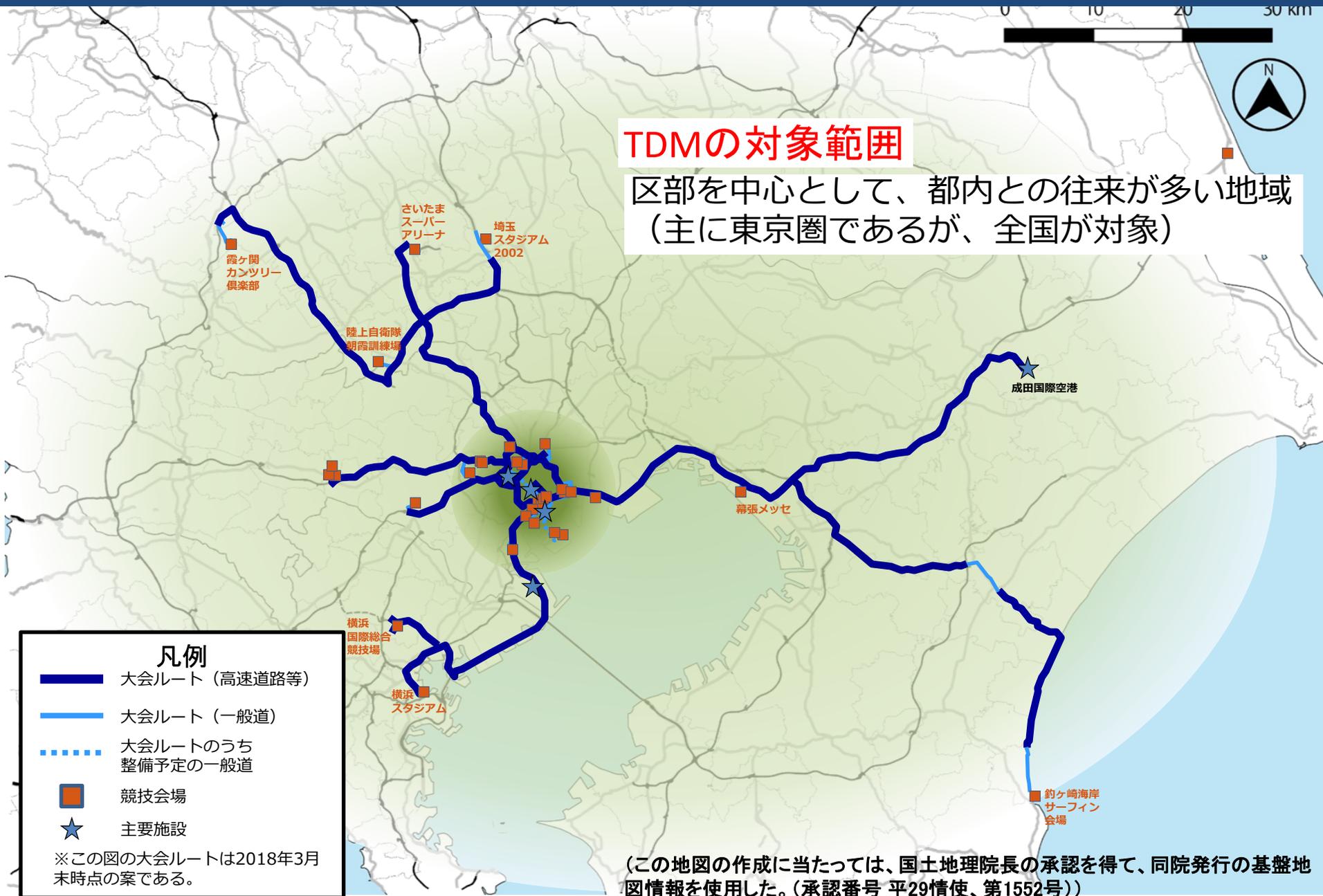
- ・部品等の搬入が遅れる
- ・スーパーやコンビニ等に商品が届かない
- ・宅配便が時間通りに届かない
- ・路線バスが時間通り来ない、時間がかかる
- ・空車になかなか乗車できない
- ・始業時間や商談・打合せの時間に間に合わない



大会時の交通混雑をリスクと捉えた回避行動の準備

BCP(事業継続計画)に準じた行動計画によるリスク低減・回避

主に協力いただきたい範囲（東京圏）

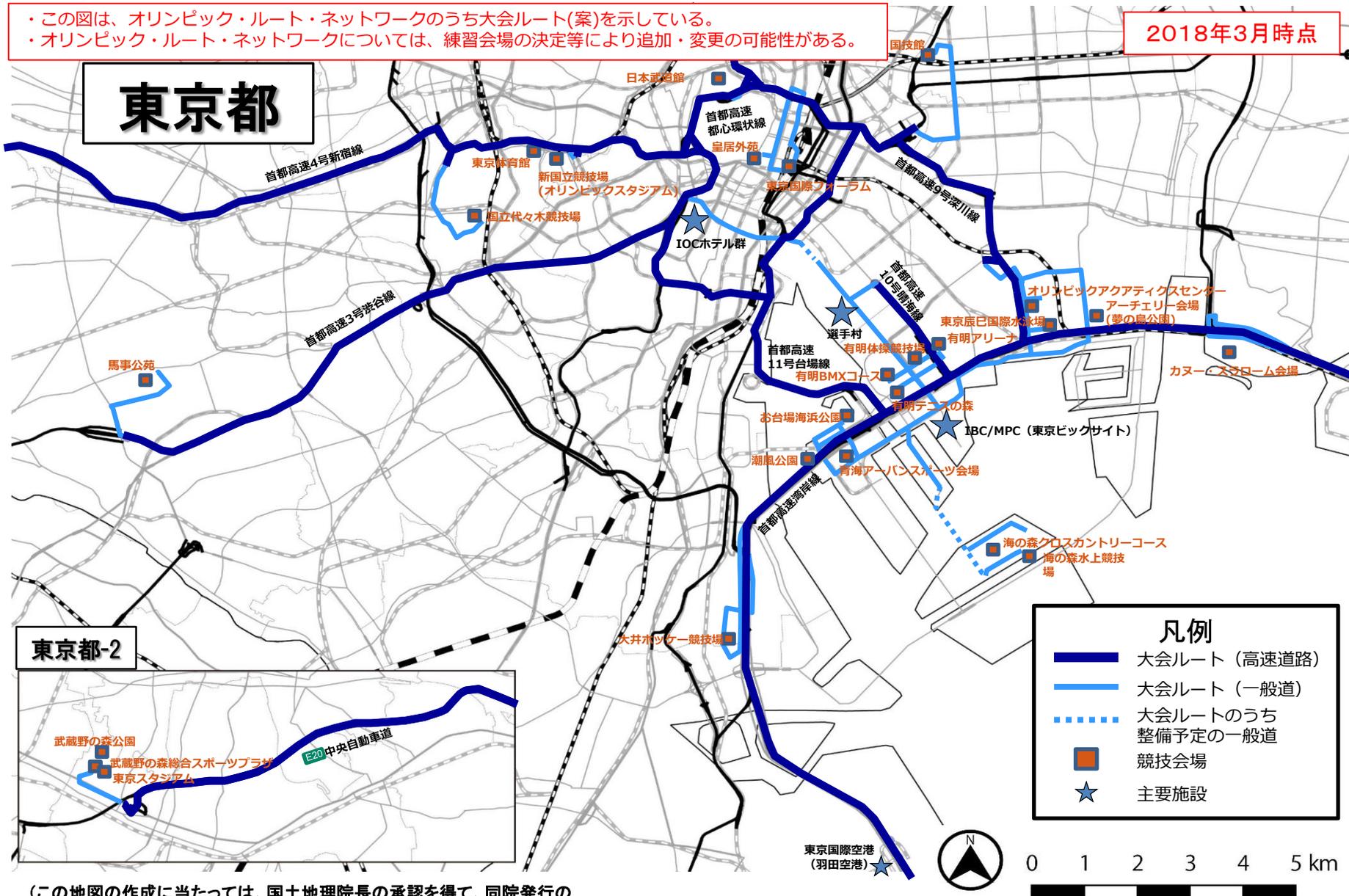


※この地図は2018年3月末時点のものである。

関係者輸送ルート (案)

- ・この図は、オリンピック・ルート・ネットワークのうち大会ルート(案)を示している。
- ・オリンピック・ルート・ネットワークについては、練習会場の決定等により追加・変更の可能性はある。

2018年3月時点

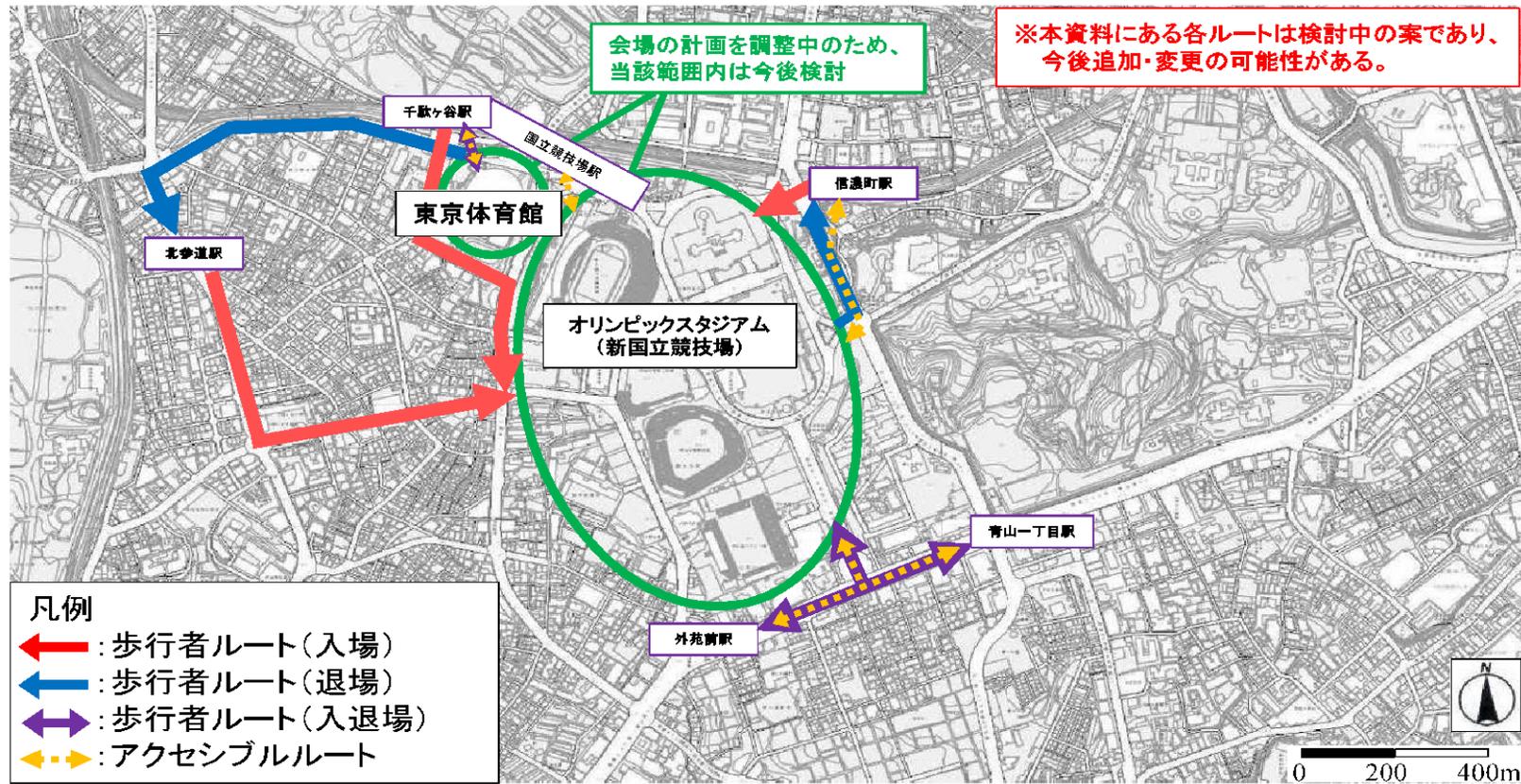


観客ルート (案)

オリンピックスタジアム(新国立競技場)
東京体育館
観客ルート素案

2018年3月末時点

(注) この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図 (S=1:2,500)を使用(29都市基交第847号)して作成したものである。無断複製禁ずる。



セッションスケジュールと鉄道や道路利用の関係

7/31 (金) 臨海部の例



鉄道

- 会場を目指す観客により通常時に比べ**混雑**
- りんかい線、京葉線、有楽町線、ゆりかもめなどで更なる混雑が発生する見込み
- 【混雑が想定される時間帯】
- <朝> 8:00~9:00
- <昼> 13:00~14:00
- <夕> 17:00~18:00

道路交通

- 大会関係車両により通常時に比べ**混雑**
- 【混雑が想定される時間帯】
- <朝> 6:30~7:30
- <昼> 11:30~12:30
- <夕> 15:30~16:30

凡例

- 大会ルート (高速道路)
- 大会ルート (一般道)
- 大会ルートのうち整備予定の一般道
- 上段: 競技会場
- 下段: 2020.7.31の競技時間
- ★ 主要施設

(この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1552号))

大会期間中の交通混雑緩和に向けた取組 ～ 2020 T D M推進プロジェクト～

東京2020
大会TDM

企業・市民の皆さまにご協力を呼び掛ける取組例

需要の抑制

休暇の取得

- ・ 夏季休暇
 - ・ ボランティア休暇
- 等

混雑の分散 (特に競技会場の沿線地域)

時差出勤

- ・ 時差Biz



テレワーク

- ・ テレワークの推進
- ・ テレワーク
関連制度の活用*
- ・ テレワーク関連施策
との連携

配送時間・ルートの変更

気運醸成 大会期間の周知

みんなで
ラジオ
体操
プロジェクト

等

行政での取組

- ・ 夏期休暇取得
の奨励
 - ・ 時差出勤
 - ・ テレワーク
- 等

大会情報
混雑情報

提供

コンサルティング

大会時の混雑を想定した準備
(2020版BCPの策定)

【各企業の皆さまにご検討頂きたい事項】

◆ 夏期休暇制度、ボランティア休暇制度の導入

- ・ 交通需要抑制には、計画的な休暇の取得が有効
- ・ 個人の協力を得るには雇用主の理解が必要
- ・ 2020大会のボランティアの募集は今夏から年内いっぱい

◆ テレワーク・時差出勤制度の導入と実践

- ・ 「テレワーク・デイズ」や「時差ビズ」等へのエントリー

◆ 大会に向けた機運の醸成

- ・ 「みんなでラジオ体操プロジェクト」などへの参加

◆ 大会時を想定した各企業の行動計画(2020版BCP)づくり

- ・ 物流の確保や工夫に向けた、荷主や個人(e-コマース)の理解と協力が必要

混雑回避の取組準備の視点

大会輸送と経済活動との両立のため、
混雑を避ける準備をお願いします！

【人の流れ】 雇用主の理解と行動が必要

- ⇒ 制度整備など企業の皆さまの協力が必要
- ⇒ 協力機運を盛り上げて、次のような取組を！
時差ビズ、テレワーク、夏期休暇 等

【物の流れ】 荷主の理解と行動が必要

- ⇒ サプライチェーン全体での協力が必要
- ⇒ 発/着荷主が一体となり、次のような取組を！
配送の時間変更、ルートの変更 等

行動のイメージと事前準備

対象		企業や市民の皆さまに願う行動例	
企業	打合せ・商談	夏期休暇・ボランティア休暇等の制度導入	時間の調整、車から公共交通への利用転換
	イベント・セール・大規模会議		開催地、時期の変更の検討
	物流・流通		配送ルートの変更、時間変更、共同配送・まとめ調達の検討、路上荷捌きの抑制、倉庫・コンテナヤード等の出入時間の調整
	通勤・通学		時差出勤、テレワーク、休暇の計画的な取得等
個人	買物・レジャー等	重点期間の夏期休暇取得、ボランティアへの参加	行先変更、時期の変更、まとめ買いの推奨
	宅配便の利用		受取り時間の変更、贈答時期の変更、再配達の抑制等の調整

常温物流は特に配送頻度、時間帯、検品方法、在庫期間について着荷主と一緒に工夫を、その他、大会期間を避けたセール時期の設定など、商習慣の見直しを含めて呼び掛けていきます。

働き方改革や様々な慣行の見直し等、進んで**革新的な取組を！**

交通(予測)情報を提示します。**事前に混雑回避の計画を！**

十分な期間を設けて**トライ&エラー等の準備を！**

2020 TDM推進プロジェクトの概要

2020TDM推進プロジェクト（事務局：東京都、内閣官房、東京2020組織委員会）

1. 東京2020公認プログラムを活用した取組

1) TDMを推進する業界団体の輪を広げる

経団連、日商、東商、経済同友会、経済界協議会のほか、運輸・港湾、バス・鉄道、流通、小売、製造等の様々な業界団体の参画を拡大していく。

2) 業界団体によるTDM推進と所属企業への取組促進

（取組例）

- ・取組を掲げる（全会員に周知する/会員企業のテレワーク率を〇%にする等）
- ・会員向けセミナーを開催する
- ・公認プログラムマークを活用した機運醸成
- ・2020アクションプラン（企業の行動計画）の手引きの作成 等



2. 企業の参画を促す取組

1) 事務局

- ・TDMの取組に協力していただける企業を募集し、HP等で登録を受付
- ・大会時の混雑見通しなどの情報提供
- ・企業側からの質問事項の受付
- ・取組の好事例の紹介
- ・参加企業へのアンケートの実施 等

2) 登録した企業

- ・大会時の混雑の見通し等、大会運営情報を適宜受け取れる
- ・TDMプロジェクト運営側と直接やり取りができ、自社活動への影響の見通しや対策が立てやすい
- ・メールマガジン、セミナー、相談会の開催案内が随時配信される

2020TDM推進プロジェクト参加状況等について



東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020 Preparation

文字サイズ・色合い変更 Language 都庁総合ホームページ

サイトマップ

Google カスタム検索

検索



当局のご紹介

2020年大会開催準備

東京都ラグビー情報

東京のスポーツ推進

各種事業

お問い合わせ

ホーム >> トップページ >> 2020年大会開催準備 >> 東京都の取組 >> 輸送計画の状況 >> 2020TDM推進プロジェクト

2020年大会開催準備

- ▶ 大会情報
- ▶ 東京都の取組
 - ▶ 競技会場等の整備
 - ▶ 新規恒久施設等の後利用
 - ▶ 2020年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－
- ▶ 輸送計画の状況
 - ▶ 輸送運営計画V1
 - ▶ 物流に関わる事業者からのご意見等の受付について
 - ▶ 関係自治体等連絡協議会
 - ▶ 多言語対応協議会
 - ▶ 大会開催に伴う経済波及効果
 - ▶ 外国人の安全安心に関する意識・要望調査
- ▶ 2020年大会招致活動

2020TDM推進プロジェクトについて

東京都は、国、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会とともに、東京2020大会開催期間中における交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメントの取組を「2020TDM推進プロジェクト」として、東京2020公認プログラムを活用して推進しています。

▶ 2020TDM推進プロジェクトとは

▶ 共同宣言

協力者一覧

(東京2020公認プログラム)

参加企業一覧

(2020TDM推進プロジェクト)

現在の協力者数

23団体

(2018年10月2日現在)

現在の参加企業数

179社

(2018年10月2日現在)

<協力者>

公認プログラム
「2020TDM推進プロジェクト」
23団体

<参加企業>

179社

※ 2018年10月2日時点

※ご登録はHPで！

2020TDM推進プロジェクト

検索

<http://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijyunbi/torikumi/yusou/2020tdm/moshikomi/index.html>

今後のスケジュール

区部を中心として、都内との往来が多い地域（主に東京圏であるが、全国が対象）に展開

